おどろき！なるほど！ガスワールド　ワークシート　ガスの歴史

時代の先端を彩ったガス器具（明治30年代）

1900年ごろ（明治30年代）になると、明かりとして使われはじめたガスの炎は、一部の上流階級の間で、料理をしたり暖まるときの「熱源」として利用され始めました。写真のガス器具は、どのような使い方をする器具だったのか、右の言葉から選んで記入してみましょう。

[　　]

[　　]

[　　]

[　　]

- ガス冷蔵庫
- 食パン焼き器
- ガスレンジ
- ガスエアコン
- 洗面用ガス湯沸かし器
- ガス洗濯機
- ガスエンジン

昔と今の道具を比べてみよう（昭和初期ー現在）

昭和のはじめの頃（1930年ごろ）の日本人の多くは、「薪」や「炭」といった燃料を使ったり、手作業で家事を行っていました。当時使っていた道具は、現在ではどんなものになっていったのでしょうか。使い方が同じものを選び線で結び、使われているエネルギーの違いも記入しましょう。

●　●　●　●　●

●　●　●　●　●

これからのくらしの道具

これからの私たちのくらしは、どんなエネルギーで、どんな道具をつかっていくのでしょうか？
エネルギーと道具の組み合わせを考えて、新しいくらしの道具を考えてみましょう。

年　　組　　名前